



# 羅針盤 No.66

東港金属株式会社

東京都大田区京浜島2-20-4

電話 03-3790-1751

URL <http://www.tokometal.co.jp>

(見学受付)

電話03-3790-1751 又は 各営業担当



## ☆羅針盤

鉄スクラップ

考察) 8月は東京製鉄宇都宮工場の特級価格22,500円/トンでスタート。最終的には20,500円/トンまで下落。輸出価格の下落の影響により国内電炉メーカーの価格は、9月以降も下がると考えられます。

銅

考察) 8月はLME5,200ドル/トン台でスタート。中国景気の減速により世界的な株価の下落もあり一次LME価格が5,000ドル/トンを割り込み国内銅建値も640,000円/トンまで落ち込みました。9月に関しては、LME価格が戻っているため月初はあがるでしょうがすぐに落ち込むと思われる。

アルミ

考察) 8月LME1,640ドル/トン台でスタートしたものの、一時は2009年6月以来となる1,500ドルを割り込みましたが最終的には1,600ドルまで回復。しかし、国内アルミ新塊相場下落や輸入塊の国内価格が値を落としたことから、9月のアルミ価格は下がると思われる。

プラスチック

考察) 原油価格の下落や、中国需要から考えると9月は下るでしょう。

8月予測の自己評価

鉄スクラップ ○

銅 ○

アルミ ○

プラスチック ○

## ☆羅針盤

施行1年過ぎました。

大気汚染防止法による飛散防止対策

石綿(アスベスト)は、昭和30年ごろから使われ始め、安価で耐火性耐熱性、吸音性など多様な機能を有していることから、建築材料として、様々な建築物等に広く使用されてきました。

しかし、ばく露後数十年を経て発症する肺がん等の疾病による健康被害が社会問題となり、石綿を使用する製品の製造が順次禁止されるなどの大気環境中へ飛散防止対策の強化が図られて、平成26年6月1日に改正大気汚染防止法が施行されました。この改正により特定建築材料が使用されている建築物又は、工作物の解体、改造、補修作業を行う場合に届出が必要となっています。ご注意ください。

### 【法の改正理由】

- 建築材料に石綿使用の有無の事前調査が不十分な事例が確認されている。また、石綿除去現場の大気中モニタリングでも、石綿飛散事例が出ている
- 石綿使用建築物の解体工事の発注で、低額、短期間の工事例では、石綿飛散対策が徹底されていない
- 昭和31年～平成18年に施工の石綿使用建築物の解体工事が平成40年頃をピークに全国的に増加の見込まれる

### 特定建築材料とは

吹き付け材、断熱材、保温材、耐火被覆材のうち、石綿を意図的に含有させたもの、または石綿が質量の0.1%を超えて含まれているもの(石綿=アスベスト)

### 必要な届出: 特定粉じん排出等作業実施の届出

石綿を使用している建築物や工場のプラントなどの工作物を解体、改造、補修する場合、作業開始の14日前までに、都道府県などの窓口に届け出が必要

### 届出者は

工事の発注者又は自主施工者(改正前は工事施工者)

### 届出内容

作業の場所、作業期間、作業の方法など

### 立ち入り検査等の対象

解体等工事に係る建築物についての届出がない場合は、立ち入り検査の対象となる

### 事前調査

解体工事等の受注者及び自主施工者は、石綿使用の有無について、事前に調査をし、その結果等を解体等工事の場所に掲示しなければならない

また、工事の受注者は、発注者に対し、調査結果及び届出事項を書面で説明しなければならない(出自:環境省資料)

\*9月です「♪今はもう秋 誰もいない海」という歌の光景には未だ日を要するでしょうが、秋という言葉を開いてホッとしている方も多いのでは。今年の都心の真夏日は連続29日間との記録。これでも観測史上歴代7位タイ記録だそうです。1位は連続40日(2004年)と気象庁の調べにありました。今年の暑さは殊の外と感じていたので7位タイとは信じられませんが、人はその時その時が一番と感じるものなのかもしれません。

2020年の東京五輪は7月24日に始まりますが、長期予報では地球温暖化は進み、まさに運動中止レベルの酷暑になると予想されています。これは五輪参加のアスリートのみならず、炎天下で応援を続ける観客にも影響が出る必須。開催時期はIOCの意向であり、今のところ変更の可能性は低いとの報道です。前回の東京五輪は10月10日が開会式で晴天の秋空でした。これを記念してこの日が体育の日となりました。地球温暖化への対応に色々な技術開発がされておりますが、今私たちにすぐ出来ることは一人一人の小さな心がけで、クールビズも温暖化防止になることを忘れず、クーラーの温度を下げすぎないことが大切です。

\*東港金属株式会社は非鉄・スクラップの買取り、産業廃棄物の処理を“いつでも”お受けいたします。身近なリサイクルパートナーとしてお気軽にご相談ください。

## 鉄・非鉄スクラップ・市況からの9月予測

営業部 Y の考察



## 不動産屋奮闘記

第1回

初めまして、東港金属株式会社営業部の五十嵐と申します。掲載中の「ゴルフ人生」が筆者休養で暫時休載になり、代打で登場致しました。私を知って戴きたく「私の履歴書・不動産屋奮闘記」を紹介させていただきます。宜しく申し上げます。

私は、昭和57年生まれの33才。自分では身も心もまだまだ青年!と自負しておりますが、若い時からの不摂生によるビヤ樽型のお腹のため、残念ながら見た目は壮年です。家庭では、愛する嫁と、今年4才になったばかりの息子と3人家族の大黒柱です。

東港金属には昨年の4月からお世話になり、ようやく1年半になりました。私の社会生活への第一歩は、卒業が危ぶまれていた大学4年生の冬に同級生と合同会社説明会に参加し、初任給がどの職種と比べても高いという安易な理由で会社を決めたことからスタートしました。

就職先の会社は、しっかり決めないとダメ。子供には言い聞かせます。入社した会社は広島県に本社のあるマンションデベロッパーで、その営業部に所属し、自社新築マンションの販売をする事になりました。

新卒入社は私と、もう1人の計2人。もともと研修期間中に1人はいなくなりましたが・・・そして1人になった私に、先輩達は一から優しく仕事を教えてくれました。

最初に担当したマンションは、完成して時間の経った売れ残りマンションで、現地で希望する部屋を見学出来るスタイルでした。お客様を待っていても全く来る気配がないので、お客様候補と見込んだ賃貸マンション各部屋のインターフォンを、朝から晩までひたすら押し続けました。夏場だったので汗でネクタイの結び目が固まる現象が発生、革靴はすぐにダメになってしまう等々の日々でした。しかし、担当して1ヶ月が過ぎた頃、私が投函したチラシを持ったご夫婦が来場され、先輩の助けも借りて契約成立! キツイ思いをした分、お客様の喜ぶ顔が何より嬉しかったことを今も記憶しております。努力は報われる、を学びました。

2番目の現場は、港区の芝公園近くの、一人か二人暮らし程の完成前の小さいマンションでした。他のビルの1階にモデルルームを作り、そこで商談と見学をしてもらおうスタイルでした。ここは3ヶ月もしないで完売。売主が完売記念で屋形船に連れて行ってくれたのを覚えています。後に、この1階でモデルルームをしていたビルの4階に東港金属の旧東京事務所があったと聞いた時は驚きました。私の意識にはありませんが、どこかにご縁があったのでしょうか。

その後、横浜市・土浦市・松戸市などのマンションを販売しました。ところが、社会人2年目の秋口に、社長が突然「投資用マンションの販売をメインで行う」と言いだしたのです。営業スタイルが一変しました。受話器と手をガムテープで巻いて、ひたすら電話営業を行うというもの。今までファミリーマンションをメインで販売していた先輩・上司は困惑し、辞める人も現れました。そのタイミングでした。当時の部長から転職の誘いがあったのです。課長や主任クラスを連れて独立するから一緒に来ないかということでした。

当時自身で身も軽い事もあった私は、迷うことなく2つ返事でついてく事にしました。そして・・・

以下次回に。

五十嵐 純(営業部 営業二課)

